

自転車競技選手
はしもと ゆうや
橋本 優弥さん
(大学3年生
岐阜市立岐北中学校・県立岐阜商業高等学校出身)

**この地から!
この力!**



ナショナルチームの選手として、国体やアジア大会で活躍。
2020東京オリンピックでのメダル獲得を目指して挑戦を続けています。

座右の銘：一期一会 (いちごいちえ)
憧れの人：兄 (橋本 英也 選手)

直撃インタビュー



自転車競技を始めたきっかけは?

幼稚園から水泳を続けていて、高校ではインターハイを目指して努力していましたが、東海大会で負けてしまいました。その頃、自転車競技をしていた兄が国体で活躍をする姿を見て、自分もできるのではないかと思いました。水泳と両立させて練習していくうちに、高校3年生になると、自転車の記録が急速に伸び、自転車競技に専念するようになりました。



自転車競技から学んだことは?

自転車チームで練習を始めたころ、社会人の方など様々な人が、それぞれの目標をもち、みんなが自転車競技を楽しんでいる雰囲気を感じました。練習自体は苦しいけれども、色々な人とのつながりを持ち、楽しむ気持ちが大切と学びました。



練習に取り組む意識は?

毎日の練習はきついです。コーチが立ててくれたメニューをこなすだけで精いっぱいの方が多そうです。それでも、自分でやる気を出して自分が必要と思う練習を考えて行う時もあります。レースでは駆け引きなど頭を使わなければいけないので、普段の練習でも頭を使うことを意識しています。



大切にしていることは?

仲間とのチームワークです。パシュートのように4人で行う競技では、コミュニケーションが大切です。ナショナルチームのメンバーと一緒に生活して、お互いをよく知っていきませんが、個人競技や国内レース、練習ではライバルにもなります。でも、どんな時も助け合いたい心強い存在です。大学の自転車部の仲間も、海外遠征の時など遠くにいても、励まして支えてくれる大切な存在です。



全日本選手権マディソン(二人ペアで交代しながら交互に走り、ポイントを積み上げていく競技)



これからの夢や目標は?

オリンピックでメダルをとることが目標です。幼い頃、オリンピックで活躍している選手を見て、夢をもらいました。今度は、自分が夢を与えられたらよいと思います。



市内の小中学生へのメッセージを!

人それぞれ好きなことがあります。考えが違う人とも助け合って、今いる周りの人を大切に!



自分の可能性を信じて、新しいことに挑戦した優弥さん。仲間と本気で競い合い、助け合うことで、お互いの力を高めているのですね。東京オリンピックでメダルを胸にかけて表彰台に上がる優弥さんの姿が楽しみです。優弥さんは岐阜市の強化指定選手にも選出されています。また、自転車競技では、岐阜市の高校生がインターハイや国体で活躍しています。岐阜市ゆかりの選手をみなさんと応援しましょう。

平成29年度 家庭市民教育啓発運動「決めて、守ろう! (我が家のルール)」優良賞作品

優良賞

石樽 桃子 (平成29年度 陽南中学校 1年)
我が家のルール 「10分ルール」
私の家では、寝る前10分間を「読書タイム」としています。このルールは、今年になってからできました。高校生になった姉がケータイを買って、もういっしょと本を読まなくなりました。そこで私は「10分ルール」を勧めました。すると、姉も本の量が増えたと、嬉しそうに話してくれました。

優良賞

杉山 かなか (平成29年度 岐北中学校 1年)
我が家のルール 「1つ1つ言葉は大切にしよう」
私の家では、1つ1つ言葉を使わないようにしています。このルールがあります。私が、1つ1つ言葉を使っているのを、お母さんが、「そんなこと言え、言わない方がいいんじゃないか」と言ってきました。でも、私は最初から「1つ1つ言葉は大切にしよう」という言葉があったらいいなと思っていました。

優良賞

山本 美空 (平成29年度 西郷小学校 6年)
我が家のルール 「家族会議」
我が家のルールは、「家族会議」です。お母さんが「月に1回、家族会議するよ」という言葉がきっかけでした。それから、毎月1回「家族会議」する習慣ができてきました。「家族会議」は、がんばったことや、これかいらやめることを相談や話し合いです。

毎月第3日曜日は「家庭の日」です。「家族でふれあう時間を大切にしましょう!」

中青を利用している高校生の団体を紹介します。

目標に向かって、自分たちで計画を立て、マナーを守って自主的に活動しています!!

Full Mac (ダンス)



中青の練習室は、鏡が一面にあるから、振りを磨ける!! 人数が多くても、他の子も全員見えるから練習しやすい。(高校3年生)

Clown (ダンス)



昨年より振りをそろえることが目標。中青は、仲間と都合の良い時間を選んで、たくさん練習できる。(高校3年生)



東青少年会館 (前・一色)

サタデースクール 毎週土曜日 9:00~11:30

自分で学習を進められる。先生や他に学習している人がいるから、安心感がある。(中学1年生)



他にも **青山青少年会館・北青少年会館・西部福祉会館青少年ルーム** があります。

編集後記

この夏、酷暑や豪雨など自然の脅威を思い知ることが度々起こりました。自主的に防災活動・支援活動に取り組む小中高生がいることが素晴らしいですね。若い力は地域を守る重要な役割を担っています。地域で行われている防災活動について聞いたり、見たりする機会をもってみると、自分にできることを新たに発見できるのではないのでしょうか。

第52号 平成30年11月15日発行
編集・発行
岐阜市教育委員会
中央青少年会館
〒500-8813 岐阜市明徳町11番地
TEL/FAX 058-266-5134

語り合おう夢! 活かそうカ!

小中学生のための地域情報発信誌

egg
えがお げんき きらっ子 エッグ



長良川ふるさと体験キャラバン in 郡上 ①8/1~2 ②8/7~8

自然に挑み 自然を知る 自己を見つめる



大自然の中で 仲間と協力した体験が、一人一人の心を強くします。

夢プロジェクト inモンゴル 8/17~24



帰国報告会 10/21



特集

地域防災 ~備える・支える~



この地からこの力

自転車競技選手 **橋本 優弥さん** (岐北中出身)
2018年アジア大会でチームパシュート3位
全日本選手権では東京五輪新種目のマディソンで優勝。

eggのホームページにアクセスしよう!
デジタル egg 検索

岐阜市ホームページ <http://www.city.gifu.lg.jp/>

vol.52
2018.秋号

岐阜市
情報発信誌

発行 岐阜市教育委員会 中央青少年会館